内装の仕上げを難燃材料とした居室に準ずる仕上げを定める件（傍線部分は改正部分）

改 正 案	現 行
<p style="text-align: center;">内装の仕上げを難燃材料とした居室に準ずる仕上げを定める件</p> <p style="text-align: center;">平成十二年 月 日</p> <p style="text-align: center;">建設省告示第 号</p> <hr/> <p>建築基準法施行令（昭和二十五政令第三百三十八号。以下「令」といふ。） 第二百二十九条第一項第一号ロの規定に基づき、居室の壁（床面からの高さが一・ 二メートル以下の部分を除く。）及び天井の室内に面する部分の仕上げを難燃材 料とした仕上げに準ずる仕上げの方法及び材料の組合せを次のとおり定める。</p> <p>第一 天井（天井のない場合においては、屋根）の室内に面する部分（回り縁、 窓台その他これらに類する部分を除く。）の仕上げを準不燃材料とすること。</p> <p>第二 壁の室内に面する部分（回り縁、窓台その他これらに類する部分を除く。 ）の仕上げを、木材、合板、構造用パネル、パーティクルボード若しくは繊維 版（これらの表面に不燃性を有する壁張り下地用のパテを下塗りする等防火上 支障がないように措置した上で壁紙を張ったものを含む。以下「木材等」とい う。）又は木材等及び難燃材料とし、木材等に係る仕上げについては、次の各</p>	<p style="text-align: center;">内装の制限を受ける居室と同等以上の効力があると認める件</p> <p style="text-align: center;">平成四年三月七日</p> <p style="text-align: center;">建設省告示第五百四十八号</p> <hr/> <p>建築基準法（昭和二十五年法律第二百一十号）第三十八条の規定に基づき、建築 基準法施行令（昭和二十五政令第三百三十八号。以下「令」といふ。）第百一 十八条の四第一項第一号に掲げる特殊建築物の当該各用途に供する居室（三階以 上の階に居室を有する建築物の当該各用途に供する居室を除く。）及び階数が三 以上で延べ面積が五百平方メートルを超える建築物、階数が二で延べ面積が千平 方メートルを超える建築物又は階数が一で延べ面積が三千平方メートルを超える 建築物の居室で、次の第一及び第二に該当するものについては、令第二百二十九条 第一項及び第四項の規定にかかわらず、これらの規定によるものと同等以上の効 力があると認める。</p> <p>第一 天井（天井のない場合においては、屋根）の室内に面する部分（回り縁、 窓台その他これらに類する部分を除く。）の仕上げを不燃材料又は準不燃材料 とすること。</p> <p>第二 壁の室内に面する部分（回り縁、窓台その他これらに類する部分を除く。 ）の仕上げを、木材、合板、構造用パネル、パーティクルボード若しくは繊維 版（これらの表面に不燃性を有する壁張り下地用のパテを下塗りする等防火上 支障がないように措置した上で壁紙を張ったものを含む。以下「木材等」とい う。）又は木材等及び不燃材料、準不燃材料若しくは難燃材料とし、木材等に</p>

号に定めるところによりすること。ただし、実験によつて防火上支障がないことが確かめられた場合においては、この限りでない。

一 木材等の表面に、火炎伝搬を著しく助長するよつな溝が設けられていないこと。

二 木材等の取付方法は、次のイ又はロのいずれかとすること。ただし、木材等の厚さが二十五ミリメートル以上である場合においては、この限りでない。

イ 木材等の厚さが十三ミリメートル以上の場合にあつては、壁の内部での火炎伝搬を有効に防止することができるよつ配置された柱、間柱その他の垂直部材及びはり、胴縁その他の横架材（それぞれ相互の間隔が一メートル以内に配置されたものに限る。）に取り付け、又は難燃材料の壁に直接取り付けること。

ロ 木材等の厚さが十三ミリメートル未満の場合にあつては、難燃材料の壁に直接取り付けること。

附 則

この告示は、平成十二年 月 日から施行する。

係る仕上げについては、次の各号に定めるところによりすること。ただし、実験によつて防火上支障がないことが確かめられた場合においては、この限りでない。

一 木材等の表面に、火炎伝搬を著しく助長するよつな溝が設けられていないこと。

二 木材等の取付方法は、次のイ又はロのいずれかとすること。ただし、木材等の厚さが二十五ミリメートル以上である場合においては、この限りでない。

イ 木材等の厚さが十三ミリメートル以上の場合にあつては、壁の内部での火炎伝搬を有効に防止することができるよつ配置された柱、間柱その他の垂直部材及びはり、胴縁その他の横架材（それぞれ相互の間隔が一メートル以内に配置されたものに限る。）に取り付け、又は不燃材料、準不燃材料若しくは難燃材料の壁に直接取り付けること。

ロ 木材等の厚さが十三ミリメートル未満の場合にあつては、不燃材料、準不燃材料又は難燃材料の壁に直接取り付けること。